

活動報告

団体名	認定 NPO 法人とちぎボランティアネットワーク
活動名	北海道胆振東部地震の被災者のための足湯&カフェ活動
活動期間	2018/09/20 ~ 2019/03/29
活動の成果	<p>* 要支援者の早期発見と専門職へのつなぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主避難場所で布団など生活物資が不足している実態を把握し、地元 NPO と協力して布団を現場へ提供した。 ・ 自主避難所の状況を行政機関へ報告し、行政機関も自主避難所への支援の必要性を認識し、ダンボールベッドなどの提供につなげた。 ・ スタッフが「足湯&カフェ」の利用者（70 代、女性）の下肢の浮腫に気づき避難所の保健師へ情報提供を行った結果、医療機関を受診し入院となった。 ・ 仮設住宅入居中の女性から騒音（スロープが軟弱で歩行すると女性宅内が振動する）について相談があり、行政機関へ対応を依頼した結果、スロープの補強工事につながった。また、女性が仮設住宅に引きこもり傾向であるという情報が「足湯&カフェ」の利用者から寄せられたため保健師へ情報提供を行った結果、カウンセラーが定期訪問することとなった。 <p>* 仮設移転や復興支援への不安な気持ちに寄り添う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所での「足湯&カフェ」で一人一人に寄り添った対応を心掛けた。 ・ 自宅全壊し涙ながらに今後の不安を訴える被災者に一人のスタッフが付き切りで傾聴、複数回「足湯&カフェ」を利用するなかで継続支援したことで、落ち着きを取り戻し、仮設住宅へ転居後は避難者のまとめ役となって、「足湯&カフェ」の協力者となって活動してくれた。 ・ 震災で友人を亡くした女性は不眠で苦しんでいた、「足湯&カフェ」を継続利用する中で不安も解消し、睡眠薬も不要となり、2 月から就労した。 <p>* 足湯ボラを地元 NPO に移行できるよう技術やノウハウを移行し体制を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記の目的に向けて地元 NPO と協力し「北海道足湯隊」を立上げ、最初は当 NPO で必要物品や会場手配、行政機関等との交渉、広報を行った。 ・ 現地の足湯ボランティア育成講座を実施した。（参加者 20 名） ・ 育成講座に参加できなかったボランティアには個別で指導した。 ・ 毎回の「足湯&カフェ」は「北海道足湯隊」の現場ボランティアが必ず一緒に活動した。 ・ 移動手段が確保できないボランティアのために乗り合わせで現地に行けるよう調整した。
寄付者へのメッセージ	皆様からのお気持ちは、被災者の皆さんに届けました。 ありがとうございました。

(活動のようす)



ゆるゆる・のんびり・リラックス
足湯・お茶会

日時：9月24日(月) 13:00～15:00
場所：四季の館

足湯をすると、体がポカポカ温まり、夜よく眠れると好評です。血のめぐりもよくなり免疫力の向上やリラックス効果も、お風呂とは一味違う効能があります。
おいしいお茶菓子や飲みものも用意していますのでぜひおいで下さい。沢山おしゃべりしましょう。

主催：レスキューストックヤード
とろろボランティアネットワーク

協力：むかしの町社会福祉協議会
札幌市立大学学生有志
ジャガネット
震災がっばり全国ネットワーク
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JV0AD)

